

この動画の内容

目的

日本国内の「博士論文」についての概要、探し方、利用方法について知る。

内容

1. 博士論文の概要
歴史、博士取得の方法、国立国会図書館における収集
2. 博士論文の検索・利用方法
国立国会図書館およびその他の機関における検索方法、閲覧方法、複写方法
3. 博士論文について調べる情報源
要旨集、日本博士録など

1. 博士論文の概要

博士論文とは？

学位の一つである「博士」を取得するために提出。

自身の研究成果を報告し、学位授与機関（大学等）による審査を受けた上で取得できる。

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構を含む

現在の博士取得方法は2通り

大学院の博士課程に所属して取得 ➡ 課程博士・甲博士

大学等に博士論文を提出して取得 ➡ 論文博士・乙博士

学位制度の歴史

年	成立した制度	名称例	特徴
明治20年 (1887年)	学位令	工学博士	5種類の博士（後に9種類）と、大博士（1898年廃止）。試験に合格または文部大臣への申請により取得。
大正9年 (1920年)	学位令 (旧学位令は廃止)	工学博士	14種類の博士。博士を得るための「論文の提出」を明記。
昭和28年 (1953年)	学位規則	工学博士	17種類の博士。さらに「修士」が加わる。博士取得には論文提出が必要なのは変わらず。
平成3年 (1991年)	学位規則 (改正)	博士(工学)	学位の種類は撤廃され、大学が分野を定めてよいことに。さらに「学士」が加わる。

→以降、博士についての制度は大きく変わらず。

学位については、平成15（2003）年に「専門職学位」が、平成17（2005）年に「短期大学士」が加わる。

平成25（2013）年には、博士論文の公表はインターネットを通じて行うことが原則となる。

博士論文の収集と公表①

～昭和10（1935）年まで（国立国会図書館による収集以前）
文部省が冊子体を収集・保管。
大学は文部省に直接、冊子体の博士論文を送付。

昭和10（1935）年

文部省→帝国図書館（国立国会図書館の前身）へ博士論文が移管される。

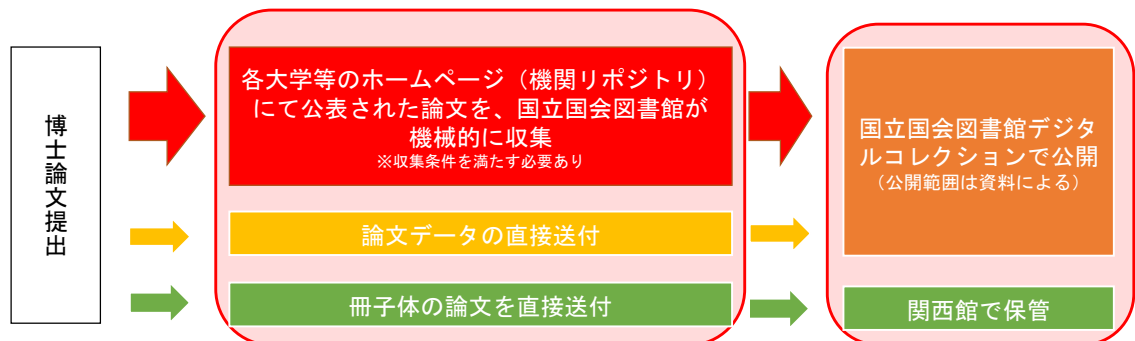
ただし、移管されたのは大正12（1923）年9月以降の博士論文（それ以前は関東大震災により消失）

以降、国立国会図書館が博士論文を網羅的に収集している。

～平成25（2013）年3月まで
冊子体中心の収集が行われた。
冊子体の博士論文は現在、関西館に保管され、原則閲覧可能。

博士論文の収集と公表②

現在の収集ルート（詳細は国立国会図書館HP「国内博士論文の収集」を参照のこと）



冊子体の博士論文も順次デジタル化を進めている。

デジタル化されたものは国立国会図書館デジタルコレクションに収録される。

→デジタル化された年代や点数等は、[国立国会図書館デジタルコレクションのHP](#)にて公開

国立国会図書館の収集と公開状況のまとめ

送付時期	形態	保管	公開
～大正12（1923）年8月	文部省保管時、関東大震災により消失したため、国立国会図書館では原則所蔵せず。		
大正12（1923）年9月 ～平成元（1989）年	冊子体	関西館	東京本館・関西館で 閲覧可能
平成2（1990）年 ～平成12（2000）年	デジタル （国立国会図書館により 冊子体からデジタル化）	デジタル （原本は関西館にて保存。原則 利用不可）	国立国会図書館 デジタルコレクション にて閲覧可能
平成13（2001）年 ～平成24（2012）年	冊子体	関西館	東京本館・関西館で 閲覧可能
平成25（2013）年 ～現在	原則デジタル （一部冊子体あり）	デジタル （冊子体は関西館にて保存）	国立国会図書館 デジタルコレクション にて閲覧可能 （冊子体は東京本館・関西館 で閲覧可能）

（令和2（2020）年9月現在）

2. 博士論文の検索・利用方法

2-1. 国立国会図書館所蔵の博士論文

国立国会図書館所蔵の博士論文の探し方

The screenshot shows the NDL ONLINE website interface. At the top right, there are links for 'ヘルプ' (Help), 'ログイン' (Login), and 'English'. Below these is a shopping cart icon with 'すべての商品' (All items) and '0'. The main header features the NDL ONLINE logo and the text '国立国会図書館オンライン'. A search bar is present with a 'キーワード' (Keyword) input field, a '詳細検索' (Advanced search) link, and a search icon. Below the search bar, there is a dropdown menu for '国立国会図書館のオンラインサービス一覧' (List of NDL online services) and a section for '電子情報 (電子ジャーナルなど)' (Electronic information (e-journals, etc.)). A list of news items is displayed, including dates and titles such as '2020年10月28日 【重要】東京本部における他選挙区別による入館制限のお知らせ' and '2020年10月13日 【重要】遠隔検閲製品の発送遅延について (発送までの目安)'.

・ 冊子体
・ デジタル資料
いずれも検索可能

国立国会図書館所蔵の博士論文の探し方

① 検索対象を博士論文に限定する



国立国会図書館所蔵の博士論文の探し方

① 検索対象を博士論文に限定する



・ 学位授与年
・ 出版年
両方を対象に検索

分野の名称
「医学博士」「博士(医学)」など

国立国会図書館所蔵の博士論文の探し方

②報告番号で検索する



キーワード 詳細検索 🔍

すべて 図書 雑誌 雑誌記事 新聞 和古書・漢籍 地図 電子資料 障害者向け資料 その他 ▾ ☰ 複数選ぶ

タイトル	_____	請求記号	_____
著者・編者	_____	出版者	_____
件名	_____	出版年	西暦 ~ 西暦
本文の言語コード	_____	分類	_____
オンライン閲覧	指定なし ▾	各種番号	_____
データベース	指定なし ▾	原文の言語コード	_____
		国名コード	_____
		所蔵場所	指定なし ▾
		資料形態	指定なし ▾

検索対象から除く 雑誌等の巻号 雑誌等の記事 項目間OR検索

国立国会図書館所蔵の博士論文の探し方

②報告番号で検索する



キーワード 詳細検索 🔍

すべて 図書 雑誌 雑誌記事 新聞 和古書・漢籍 地図 電子資料 障害者向け資料 その他 ▾ ☰ 複数選ぶ

タイトル	_____	請求記号	_____
著者・編者	_____	出版者	_____
件名	_____	出版年	西暦 ~ 西暦
本文の言語コード	_____	分類	_____
オンライン閲覧	指定なし ▾	各種番号	_____
データベース	指定なし ▾	原文の言語コード	_____
		国名コード	_____
		所蔵場所	指定なし ▾
		資料形態	指定なし ▾

検索対象から除く 雑誌等の巻号 雑誌等の記事 項目間OR検索

報告番号 (博士論文)

- 各種番号
- ISBN
- ISSN
- レポート番号 (雑誌記事)
- 報告番号 (博士論文)**
- 規格・レポート番号
- 全国書誌番号
- DOI
- 永続的識別子
- 書誌ID

国立国会図書館所蔵の博士論文の探し方

② 報告番号で検索する



国立国会図書館における閲覧

所蔵検索により、以下のどちらであるかを確認。

① 冊子体

② デジタル資料

国立国会図書館における閲覧

①冊子体の場合

関西館での閲覧

事前の申込みは不要。来館日当日に閲覧可。

全て書庫に保管されているため、関西館内の端末により書庫出納の手続きをすることで、閲覧することができる。

(館外貸出は不可)

※「利用制限」と書かれた資料は別途お問い合わせが必要。

国立国会図書館における閲覧

①冊子体の場合

東京本館での閲覧

関西館から取り寄せることで閲覧可能。

事前の申込みが必要。(来館またはインターネット)

事前申込みから最短で、来館の場合は3開館日後、インターネットの場合は6開館日後に閲覧可。

詳しくは→[国立国会図書館HP](#) [東京本館](#) > [資料の取寄せ](#)

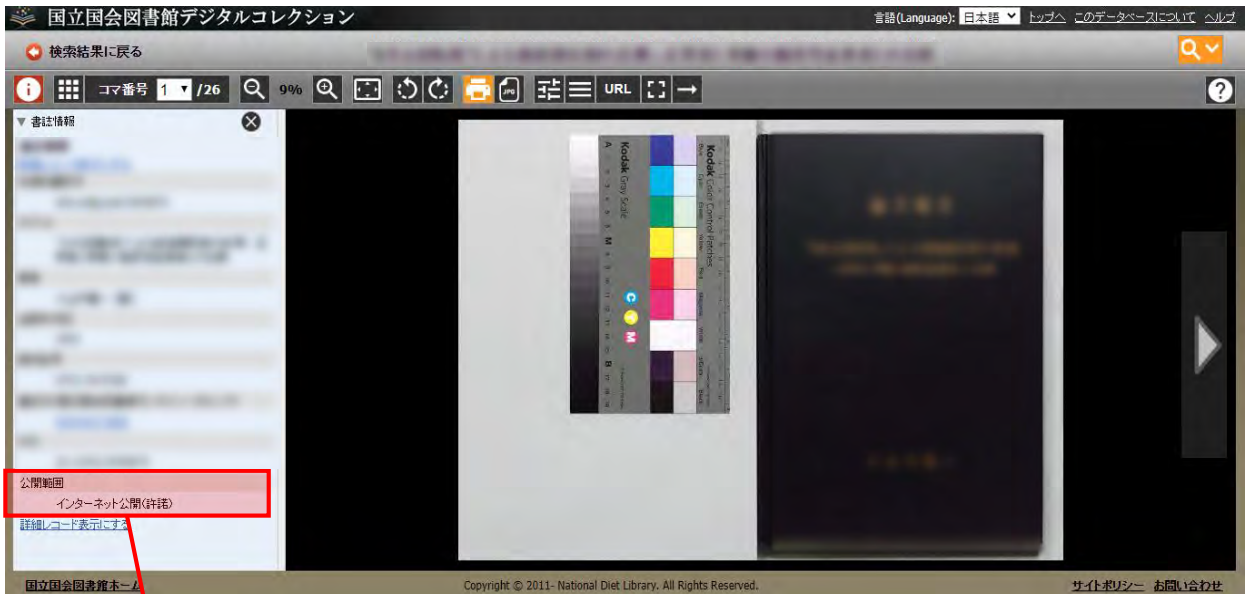
なお冊子体の博士論文は、公共図書館や大学図書館に資料を取り寄せる「図書館間貸出」の対象外。

国立国会図書館における閲覧

②デジタル資料の場合

デジタル資料の博士論文は国立国会図書館デジタルコレクションに収録されている。

NDLオンラインにて



こちらに「公開範囲」が書かれている

国立国会図書館における閲覧

②デジタル資料の場合

資料によって「公開範囲」（閲覧できる場所）が異なる。

インターネット公開

著作権者の許諾を得た上でインターネット上に公開。
自宅での閲覧や印刷が可能。
（「論文要旨」のみの公開や、副論文や参考論文は未公開の場合あり）

図書館送信資料

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」に加盟している図書館内の端末であれば、閲覧が可能。
参加館一覧はデジタルコレクションのホームページに掲載。

国立国会図書館内限定

東京本館、関西館、国際子ども図書館でのみ閲覧が可能。

国立国会図書館における複写

博士論文＝一つの著作物。著作権法による保護の対象。

図書館における複写は著作権法その他法規に基づき行う。

通常は「論文の半分まで」

（主論文以外の「副論文」や「参考論文」が収録されている場合は、それぞれの論文の半分まで）

国立国会図書館における複写

1 来館複写

関西館または東京本館にて閲覧時に複写可能。

2 遠隔複写

指定の博士論文の希望ページをコピーし、郵送により送付。

申込方法：インターネット、郵送、近隣の図書館経由のいずれか

詳細は

[国立国会図書館HP](#) > [複写サービス](#) > [遠隔複写サービス](#)

のページを参照。

著作権法上認められた範囲を超えての複写を希望する場合

→著作権者の許諾をとった上で、「特別複写」という手続きをとる。

2-2. その他の大学等所蔵の博士論文

国立国会図書館以外の所蔵を探す場合

その学位を授与した大学等において保管、公開されているかを確認する。

近年は、「機関リポジトリ」に、博士論文のPDF等が収録され、閲覧できるようにしていることもある。

その他の所蔵場所・公開場所の探し方

① CiNii Dissertations (<https://ci.nii.ac.jp/d/>)

国内の学術機関のリポジトリで公開されている博士論文、国立国会図書館が所蔵する博士論文を、一元的に検索できる。

A screenshot of the CiNii Dissertations search interface. The interface is green and white. At the top, there are two tabs: "博士論文検索" (Doctoral Thesis Search) and "全文検索" (Full Text Search). Below the tabs is a search bar with the placeholder text "フリーワード" (Free word) and a "検索" (Search) button. Below the search bar are two radio buttons: "すべて" (All) and "本文あり" (Full text available), with a "戻る" (Back) button. Below the search bar are several input fields: "タイトル" (Title), "抄録・目次・注記" (Abstract/Contents/Notes), "著者名" (Author name), "学位授与大学名" (University name), "大学ID" (University ID), "学位授与番号ID" (Thesis number ID), "取得学位名" (Degree name), "学位授与年" (Year of degree), "年から" (From year), and "年まで" (To year).

その他の所蔵場所・公開場所の探し方

② IRDB (<https://irdb.nii.ac.jp/>)

国内の学術機関リポジトリに登録されたコンテンツ（博士論文、学術雑誌論文、研究報告書等）のメタデータを検索できる。

IRDB 学術機関リポジトリデータベース
Institutional Repositories DataBase

The screenshot shows the IRDB search interface. At the top, there is a search bar with a '検索' (Search) button and a '詳細検索' (Advanced Search) link. Below the search bar, there are several filter sections: 'すべて' (All) and '本文あり' (Full text available) buttons; 'タイトル' (Title) input field; '著者名' (Author name) and '著者ID' (Author ID) input fields; '刊行物名' (Publication name) and '各種ID' (Various IDs) input fields; '学位授与機関' (Degree-granting institution) and '学位授与番号' (Degree-granting number) input fields; '要約' (Abstract) input field; and '機関' (Institution) input field. There are also dropdown menus for '資源タイプ' (Resource type) and '出版タイプ' (Publication type), both currently set to '-なし-' (None).

その他の所蔵場所・公開場所の探し方

② IRDB

IRDB 学術機関リポジトリデータベース
Institutional Repositories DataBase

This screenshot shows the IRDB search interface with the '資源タイプ' (Resource type) dropdown menu open. The dropdown menu lists various resource types, including 'conference proceedings', 'dataset', 'image', 'moving image', 'video', 'lecture', 'patent', 'internal report', 'report', 'research report', 'technical report', 'policy report', 'report part', 'working paper', 'sound', 'thesis', 'bachelor thesis', 'master thesis', 'doctoral thesis', 'interactive resource', 'learning material', 'musical notation', 'research proposal', 'software', 'technical documentation', 'workflow', and 'other'. A red circle highlights the '資源タイプ' label in the form, and a callout box points to 'doctoral thesis' in the dropdown menu.

その他の所蔵場所・公開場所の探し方

③ 各大学等の所蔵検索・機関リポジトリ

冊子体の博士論文の所蔵確認は、各大学等のホームページの蔵書検索等によっても可能であることが多い。

（見つからない場合は直接問い合わせる）

博士論文の閲覧・利用方法については、それぞれの大学等に直接問い合わせる。

それでも見つからない場合には？

- ・ 著者名で、**図書**や**雑誌記事**を検索する。
→同じ（近い）内容の論文が見つかる可能性がある。

・ 雑誌に論文を発表→博士論文として提出
・ 博士論文として提出→改めて本として出版
というケースがあるため。

3. 博士論文について調べる情報源

情報源

- ①要旨集…論文の概要・審査結果
- ②目録…古い年代の博士取得者を一覧
例) 『大日本博士録』、『日本博士録』など

情報源

① 要旨集

- ・ 博士論文の **内容要旨+審査結果の要旨**
- ・ 発行元の大学等の図書館および、国立国会図書館で所蔵。
(主に東京本館にて所蔵)
平成25(2013)年以降はインターネットによる公表が原則になったため、各大学のHPや機関リポジトリに掲載されていることが多い。

※タイトルは発行元によって異なる。

情報源

① 要旨集



キーワード 詳細検索

[すべて](#) [図書](#) [雑誌](#) [雑誌記事](#) [新聞](#) [和古書・漢籍](#) [地図](#) [電子資料](#) [障害者向け資料](#) [その他](#) ☰ 複数選ぶ

タイトル

著者・編者 **出版者**

件名 分類

本文の言語コード 国名コード

オンライン閲覧 指定 資料形態 指定なし

データベース 指定

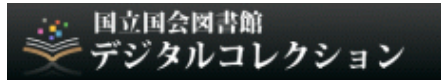
学位論文 抄録

検索対象から除く 雑誌等の巻号 雑誌等の記事 項目間OR検索

▼ 国立国会図書館のオンラインサービス一覧

情報源

② 目録：『大日本博士録』全5巻（発展社，1921-1930）



インターネット公開資料

- ・ 明治21（1888）年～昭和4（1929）年に学位授与された博士について調べられる。
- ・ 出生、学歴、業績の他、趣味嗜好、家族、現住所、電話番号などの記述あり。一部の博士については、肖像と自署も掲載。
- ・ 第1巻：法学・薬学、第2～4巻：医学、第5巻：工学
各巻ごとに収録年代が異なる。
- ・ 各巻に著者の索引表あり。
（欧文ページはアルファベット順、和文ページはイロハ順）

情報源

② 目録：『日本博士録』全9巻（日本図書センター，1985）

- ・ 明治21（1888）年～昭和37（1962）年に学位授与された博士の博士論文を調べられる。
- ・ 氏名、出身学校、授与年月日、本籍（都道府県）、主論文名が調べられる。
- ・ 各巻ごとに収録年代が異なる。
第9巻は学位の種類ごとの人名総索引（五十音順）

情報源

The screenshot shows the 'Research Navigator' (リサーチ・ナビ) website of the National Diet Library. The main heading is '国内博士論文' (Domestic Doctoral Theses). A search bar at the top contains the text '思い通りのキーワードを入れてください' (Please enter the keywords you are looking for). Below the heading, there is a brief introduction in Japanese: 'ここでは、国内の大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構(以下、「学位授与大学等」)が授与した博士の学位に係る論文(以下、「博士論文」)の調べ方を紹介します。【1】内は当該請求記号です。請求記号と異なっているものは、期によって請求記号が異なります。国立国会図書館オンラインでご調べください。' (Here, we introduce the search method for theses related to the doctorate granted by universities or the National Institute for Academic Degrees and University Evaluation (hereinafter referred to as 'Degree-granting universities'). [1] refers to the request number. Request numbers may differ by period. Please check the National Diet Library Online.)

On the left side, there are navigation links: 'リサーチ・ナビについて', 'リサーチ・ナビの使い方', '国立国会図書館に行く', and '図書館に書く'. Below these are logos for '国立国会図書館 National Diet Library', 'NDL ONLINE', '国立国会図書館サーチ', 'デジタルコレクション', and 'レファレンス情報データベース等'.

The main content area includes a '目次' (Table of Contents) with the following items:

1. 国内博士論文の所蔵状況等
2. 検索方法
 - 2-1. 博士論文の検索ツール
 - 2-2. 学位授与大学の検索システムを検索するには
 - 2-3. 国立国会図書館蔵書の取扱いについて
 - 2-4. 開館
 - 2-5. ネット利用性
 - 2-6. 電子書籍
 - 2-7. 紙書
3. インターネット上で公開されている博士論文の検索・閲覧について
4. 博士論文所蔵の情報は
5. 博士論文

Below the table of contents, there is a section titled '1. 国内博士論文の所蔵状況等' (Collection Status of Domestic Doctoral Theses). The text explains: '国内の博士論文は、国立国会図書館のほか、学位を授与した大学の図書館等に所蔵されています。なお、平成25(2013)年4月以降に学位授与大学等が授与した博士の学位に係る博士論文は、学位授与大学等を通じてインターネットで公表されることになりました。国立国会図書館では、大正12(1923)年9月以降の国内博士論文を所蔵しています。平成25(2013)年3月までに学位授与大学等が授与した博士の学位に係る博士論文(印刷物は、全国の学位授与大学等からの送付により収集しています。' (Domestic doctoral theses are held by the National Diet Library and libraries of universities that granted the degree. In addition, doctoral theses related to the degree granted by degree-granting universities from April 2013 onwards will be published on the Internet through the degree-granting universities. The National Diet Library holds domestic doctoral theses from September 1923 onwards. Before March 2013, doctoral theses related to the degree granted by degree-granting universities were collected from degree-granting universities across the country.)

On the right side, there are sections for 'アイコンについて' (About Icons), 'カテゴリが「国内博士論文」の他の記事' (Other articles in the category 'Domestic Doctoral Theses'), and '調べ方案内' (Search Guide).

まとめ

- 博士論文は国立国会図書館が大正12（1923）年9月以降の分を網羅的に収集・保存している。
- 冊子体、デジタル資料のどちらかで提供している。年代によって異なる。
- 所蔵の有無は「国立国会図書館オンライン」で検索できる。
- 冊子体は関西館で保管している。東京本館に取寄せも可能。デジタル資料は資料によって公開範囲、閲覧可能な場所が異なる。

問い合わせ先



The screenshot shows the National Diet Library website. The header includes the logo and name '国立国会図書館 National Diet Library, Japan'. A navigation menu is visible with options like 'ホーム', 'サービス・国会関連情報', '非営利される方へ', '専車紹介', '関係者の方へ', and '国立国会図書館について'. The main content area is titled 'レファレンス・資料案内' (Reference & Materials). Under the heading 'お問い合わせの前に' (Before contacting), there are two bullet points: the first mentions that materials are available on the 'National Diet Library Online' platform, and the second mentions that the 'Research Navigator' service provides information on document retrieval and basic search methods. A 'リサーチナビ' button is also present.

資料の内容を確認する必要のあるお問い合わせ
図書館を通じてのお問い合わせにより対応。
個人の方はお近くの図書館へご相談ください。

ご視聴ありがとうございました。